

【航空工学科】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
			時間数	時間数	時間数	時間数
CAD実習Ⅰ	設計で必須となるCADの基本操作を身に着けさせる。	主として実践的教育から構成される授業	90			
PC実習Ⅰ	Microsoft Office(WORD・EXCEL)の基本を学び操作がしっかりできる	主として実践的教育から構成される授業	60			
プログラミング実習Ⅰ	インターネットの仕組みやホームページの基本、FTPを用いてインターネット上に公開(アップ)する仕組みを理解する。	主として実践的教育から構成される授業	60			
基本技術	もの作りに必要な基本技術の知識を習得させる	主として実践的教育から構成される授業	60			
CAD実習Ⅱ	3次元ソフト(CATIA V5)を用いて立体的設計する基礎を身に着ける。	主として実践的教育から構成される授業		150		
PC実習Ⅱ	Microsoft Excel マクロ/VBAで基本的なマクロを組むことが出来る	主として実践的教育から構成される授業		60		
プログラミング実習Ⅱ	Javaプログラミングを通じてプログラミングの基礎を理解し、アプリケーション開発ができるようになる。	主として実践的教育から構成される授業		120		
基本技術	もの作りに必要な基本技術の知識を習得させる	主として実践的教育から構成される授業		90		
CAD実習Ⅲ	Assembly Designによってパーツ設計及び組み立てを学ぶ。	主として実践的教育から構成される授業			180	
プログラミング実習Ⅲ	Pythonプログラミングを学び、機械学習、分析などの基礎知識、ドローン制御を学ぶ。	主として実践的教育から構成される授業			180	
テクニカル・デザイン	工業分野における製品の販売に必要な意匠・色彩・機能を念頭におき、最良の新製品を開発する手順及び手法に加え表現力を習得させる。	主として実践的教育から構成される授業			60	
CAD実習Ⅳ	ジェネレーティブストラクチャルアナリシスを用いて構造解析を学ぶ。wireframe & surfaceを用いて流線形設計を学ぶ。	主として実践的教育から構成される授業				180
プログラミング実習Ⅳ	基本情報処理技術者試験の受験を目指す。	主として実践的教育から構成される授業				180
卒業研究	テーマを選定し、計画立案から準備、実行、考察、報告までの一連の研究方法を学ぶ。課題解決型の取り組みを学び、社会に出てからの業務基本となることを理解する。	主として実践的教育から構成される授業				300
合計			270	420	420	660
第1年次+第2年次+第3年次+第4年次 合計			1,770			

【トータルモビリティ工学科】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
			時間数	時間数	時間数	時間数
CAD実習Ⅰ	設計で必須となるCADの基本操作を身に着けさせる。	主として実践的教育から構成される授業	90			
PC実習Ⅰ	Microsoft Office(WORD・EXCEL)の基本を学び操作がしっかりできる	主として実践的教育から構成される授業	60			
プログラミング実習Ⅰ	インターネットの仕組みやホームページの基本、FTPを用いてインターネット上に公開(アップ)する仕組みを理解する。	主として実践的教育から構成される授業	60			
基本技術	もの作りに必要な基本技術の知識を習得させる	主として実践的教育から構成される授業	60			
CAD実習Ⅱ	3次元ソフト(CATIA V5)を用いて立体的設計する基礎を身に着ける。	主として実践的教育から構成される授業		150		
PC実習Ⅱ	Microsoft Excel マクロ/VBAで基本的なマクロを組むことが出来る	主として実践的教育から構成される授業		60		
プログラミング実習Ⅱ	Javaプログラミングを通じてプログラミングの基礎を理解し、アプリケーション開発ができるようになる。	主として実践的教育から構成される授業		120		
基本技術	もの作りに必要な基本技術の知識を習得させる	主として実践的教育から構成される授業		90		
CAD実習Ⅲ	Assembly Designによってパーツ設計及び組み立てを学ぶ。	主として実践的教育から構成される授業			180	
プログラミング実習Ⅲ	Pythonプログラミングを学び、機械学習、分析などの基礎知識、ドローン制御を学ぶ。	主として実践的教育から構成される授業			180	
テクニカル・デザイン	工業分野における製品の販売に必要な意匠・色彩・機能を念頭におき、最良の新製品を開発する手順及び手法に加え表現力を習得させる。	主として実践的教育から構成される授業			60	
CAD実習Ⅳ	ジェネレーティブストラクチャルアナリシスを用いて構造解析を学ぶ。wireframe & surfaceを用いて流線形設計を学ぶ。	主として実践的教育から構成される授業				180
プログラミング実習Ⅳ	基本情報処理技術者試験の受験を目指す。	主として実践的教育から構成される授業				180
卒業研究	テーマを選定し、計画立案から準備、実行、考察、報告までの一連の研究方法を学ぶ。課題解決型の取り組みを学び、社会に出てからの業務基本となることを理解する。	主として実践的教育から構成される授業				300
合計			270	420	420	660
第1年次+第2年次+第3年次+第4年次 合計			1,770			

【航空整備科 一等航空整備士養成コース】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次	第3年次
			時間数	時間数	時間数
大型機整備基礎実習（機体）	大型機の各システムについて理解させると共にセスナ172型を通して整備基礎技術を習得する	主として実践的教育から構成される授業			252
大型機整備基礎実習（装備品）	大型機の各種計器、航法装置及び無線機器について理解させると共にセスナ172型を通して整備基礎技術を習得する	主として実践的教育から構成される授業			222
大型機整備基礎実習（タービン発動機）	大型機の各システムについて理解させると共にセスナ172型を通して整備基礎技術を習得する	主として実践的教育から構成される授業			138
大型機整備基礎実習（取扱）	大型機の運航整備業務と技術管理を理解させると共にセスナ172型を通して整備基礎技術を習得する	主として実践的教育から構成される授業			90
大型機整備基礎実習（実務教育）	一等航空整備士として必要な知識、技術をインターンシップにおいて実機で理解する	主として実践的教育から構成される授業			210
合計					912
			第1年次+第2年次+第3年次 合計	912	

【航空整備科 二等航空整備士コース】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次	第3年次
			時間数	時間数	時間数
基本技術Ⅱ	航空機の整備に必要な基本作業及び、検査の方法を習得させる	主として実践的教育から構成される授業		164	281
航空機取扱	C172の運航整備業務と技術管理について理解させる	主として実践的教育から構成される授業		105	210
飛行機実習	C172の各システムの構成、機能、作動を理解させる	主として実践的教育から構成される授業			240
発動機実習	ピストンエンジンの構造、機能及びプロペラの理論、構造、機能を理解させる	主として実践的教育から構成される授業		130	130
装備品実習	航空機用計器、電気装備品、無線航空法機器の構造、動作原理について理解する	主として実践的教育から構成される授業		125	126
電子回路実習	電子回路図の解読、電子技術の基礎知識、計測機器の使用方法等について理解させる	主として実践的教育から構成される授業		105	
システム実習	整備に必要な作業・検査についての基本技術の習得と、C172の各システムの構成、機能、作動を理解する	主として実践的教育から構成される授業		139	
合計				768	987
		第1年次+第2年次+第3年次 合計	1,755		

【航空整備科 二等航空運行整備士コース】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次	第3年次
			時間数	時間数	時間数
合計			0	0	0
			第1年次+第2年次+第3年次 合計		
			0		

【航空整備科 製造技術コース】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次	第3年次
			時間数	時間数	時間数
基本技術	航空機整備の基本技術、計測、溶接実習、製品作成等通じて基礎技術を習得させる	主として実践的教育から構成される授業			102
工作実習	航空機の製造技術の基礎をなす基本作業を全般にわたり理解し、作業が確実に実施できることを目的	主として実践的教育から構成される授業		204	204
装備品実習	実験及び回路作成を通し、理論的、科学的な志向を身につける	主として実践的教育から構成される授業		102	
非破壊実習Ⅰ	超音波探傷試験の基礎から適用方法を理解させ、資格取得を目指す	主として実践的教育から構成される授業		170	
非破壊実習Ⅱ	浸透探傷試験、放射線透過試験、磁気探傷試験の基礎知識を理解させる。	主として実践的教育から構成される授業			204
機械製図	製図の基礎、図面の読み方、立体製図の基礎知識を習得	主として実践的教育から構成される授業		102	
CAD実習	機械製図理解し、CADの操作を理解するとともに図面を見て作成できる	主として実践的教育から構成される授業			102
合計			0	578	612
第1年次+第2年次+第3年次 合計			1,190		

【空港技術科】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次
			時間数	時間数
技能実習	各車両機材の運転操作取扱いについて、実際使用している機材を用いて技術を体得する	主として実践的教育から構成される授業	254	
技能実習	空港特殊車両を使った運転技術向上を図る。溶接作業に関する適切な安全知識、技量を身に付けることができる。	主として実践的教育から構成される授業		254
合計			254	254
第1年次+第2年次 合計			508	

【グラウンドハンドリング科】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次
			時間数	時間数
技能実習	各車両機材の運転操作取扱いについて、実際使用している機材を用いて技術を体得する	主として実践的教育から構成される授業	254	
技能実習	空港特殊車両を使った運転技術向上を図る。溶接作業に関する適切な安全知識、技量を身に付けることができる。	主として実践的教育から構成される授業		254
合計			254	254
第1年次+第2年次 合計			508	

【国際航空ビジネス科 エアラインコース】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次
			時間数	時間数
キャビンアテンダント実習Ⅰ	客室乗務員として大きな役割である、「保安要員」「サービス要員」についてロールプレイを通して学び、リーダーシップやおもてなしなど必要なスキルの習得。	主として実践的教育から構成される授業	62	
キャビンアテンダント実習Ⅱ	客室乗務員が実際のフライトで遭遇する事例を学び、初期対応について実習し、応用編を学ぶ。客室乗務員との情報共有について学ぶ。	主として実践的教育から構成される授業		62
グラウンドスタッフ実習Ⅰ	グラウンドスタッフに必要な空港の基礎知識や航空用語を学ぶ。実習を通して、業務の基礎知識を学ぶと共に、リーダーシップやおもてなしなど必要なスキルの習得。	主として実践的教育から構成される授業	62	
グラウンドスタッフ実習Ⅱ	グラウンドスタッフの国際線の取り扱いやイレギュラー対応を学び、就職後の現場をイメージした実践的な授業で、自ら考え行動できるレベルへ到達することを目標とする。	主として実践的教育から構成される授業		62
合計			124	124
第1年次+第2年次 合計			248	

【国際航空ビジネス科 エアライン留学コース】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次
			時間数	時間数
キャビンアテンダント実習Ⅰ	客室乗務員として大きな役割である、「保安要員」「サービス要員」についてロールプレイを通して学び、リーダーシップやおもてなしなど必要なスキルの習得。	主として実践的教育から構成される授業	62	
キャビンアテンダント実習Ⅱ	客室乗務員が実際のフライトで遭遇する事例を学び、初期対応について実習し、応用編を学ぶ。客室乗務員との情報共有について学ぶ。	主として実践的教育から構成される授業		62
グラウンドスタッフ実習Ⅰ	グラウンドスタッフに必要な空港の基礎知識や航空用語を学ぶ。実習を通して、業務の基礎知識を学ぶと共に、リーダーシップやおもてなしなど必要なスキルの習得。	主として実践的教育から構成される授業	62	
グラウンドスタッフ実習Ⅱ	グラウンドスタッフの国際線の取り扱いやイレギュラー対応を学び、就職後の現場をイメージした実践的な授業で、自ら考え行動できるレベルへ到達することを目標とする。	主として実践的教育から構成される授業		62
合計			124	124
第1年次+第2年次 合計			248	

【キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ科 エアラインコース】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次
			時間数	時間数
キャビンアテンダント実習Ⅰ	客室乗務員として大きな役割である、「保安要員」「サービス要員」についてロールプレイを通して学び、リーダーシップやおもてなしなど必要なスキルの習得。	主として実践的教育から構成される授業	62	
キャビンアテンダント実習Ⅱ	客室乗務員が実際のフライトで遭遇する事例を学び、初期対応について実習し、応用編を学ぶ。客室乗務員との情報共有について学ぶ。	主として実践的教育から構成される授業		62
グラウンドスタッフ実習Ⅰ	グラウンドスタッフに必要な空港の基礎知識や航空用語を学ぶ。実習を通して、業務の基礎知識を学ぶと共に、リーダーシップやおもてなしなど必要なスキルの習得。	主として実践的教育から構成される授業	62	
グラウンドスタッフ実習Ⅱ	グラウンドスタッフの国際線の取り扱いやイレギュラー対応を学び、就職後の現場をイメージした実践的な授業で、自ら考え行動できるレベルへ到達することを目標とする。	主として実践的教育から構成される授業		62
合計			124	124
第1年次+第2年次 合計			248	

【キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ科 エアライン留学コース】

授業科目	授業科目の概要	実務経験のある教員等の内容	第1年次	第2年次
			時間数	時間数
キャビンアテンダント実習Ⅰ	客室乗務員として大きな役割である、「保安要員」「サービス要員」についてロールプレイを通して学び、リーダーシップやおもてなしなど必要なスキルの習得。	主として実践的教育から構成される授業	62	
キャビンアテンダント実習Ⅱ	客室乗務員が実際のフライトで遭遇する事例を学び、初期対応について実習し、応用編を学ぶ。客室乗務員との情報共有について学ぶ。	主として実践的教育から構成される授業		62
グラウンドスタッフ実習Ⅰ	グラウンドスタッフに必要な空港の基礎知識や航空用語を学ぶ。実習を通して、業務の基礎知識を学ぶと共に、リーダーシップやおもてなしなど必要なスキルの習得。	主として実践的教育から構成される授業	62	
グラウンドスタッフ実習Ⅱ	グラウンドスタッフの国際線の取り扱いやイレギュラー対応を学び、就職後の現場をイメージした実践的な授業で、自ら考え行動できるレベルへ到達することを目標とする。	主として実践的教育から構成される授業		62
合計			124	124
第1年次+第2年次 合計			248	